

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2021年8月分)

2021年9月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[大統領評議会2メンバーとシュミット上級代表の会談\(3日\)](#)

●[エルドアン・トルコ大統領のBH訪問\(27日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

イ. スルプスカ共和国(RS)

●[「デイトン2」締結を提唱するドディック大統領評議会メンバー発言\(27日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[シュミット新上級代表の就任\(1日\)](#)

●[当地ロシア・中国大使館、シュミット上級代表就任に反対する旨の口上書を発出\(13、16日\)](#)

●[シュミット上級代表とメルケル独首相の会談\(18日\)](#)

(2) 二国間関係

●[トゥルコビッチ外相のイラン訪問\(3～5日\)](#)

(3) 日・BH関係

●[伊藤大使のモスタル市長訪問\(3日\)](#)

●[伊藤大使のBHパラリンピック選手団壮行会出席\(17日\)](#)

●[シュクルビッチ・パニャルカ大学医学部長に対する外務大臣表彰の決定\(20日\)](#)

3. 経済

(1) 経済政策・公共事業

●[IMF、特別引出権の発動によりBHに約3億ユーロを配分\(24日\)](#)

(2) 経済協力(新型コロナウイルス対策支援を含む)

(3) 民間セクター

●[2020年の対BH外国直接投資額、前年から増加を記録\(17日\)](#)

(注:この月報は、当地紙報道などの公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●新型コロナ感染状況(1～31日)

8月の新規感染者総数は8,974人で、同703人だった7月から10倍以上の増加。感染再拡大の傾向を受け、国内の各自治体は、現在解除されている感染予防措置の再導入に向けた検討も行っている。

●大統領評議会2メンバーとシュミット上級代表の会談(3日)

コムシッチ大統領評議会議長(クロアチア系)及びジャフェロビッチ同ボシュニャク系メンバーが、1日に就任したシュミット新上級代表との会談を実施。シュミット上級代表は、EUおよび米国を始めとする国際社会と協力しつつ、BHのEU加盟に向けた14項目の課題達成およびOHRの閉鎖条件である「5+2」アジェンダの達成に向けBHを支援する意向を述べた。なお、シュミット上級代表の就任に反対するドディック・セルビア系メンバーは会談を欠席した。

●エルドアン・トルコ大統領のBH訪問(27日)

エルドアン・トルコ大統領がBHを訪問し、大統領評議会3メンバー始めBH要人と会談した。両国首脳は、二国間貿易の拡大およびインフラ整備協力の強化に向け意見を交わした。なお、同会合には、RS国民議会決議に基づき国政ボイコットを表明しているドディック・メンバーも出席。会合出席は決議違反と批判するRS野党に対して、同メンバーは、エルドアン大統領にBH情勢に関するRSの立場を直接伝える必要があるとして反論、会合への出席を正当化した。

(2) エンティティ、特別区

イ. スルプスカ共和国(RS)

●RS要人とブチッチ・セルビア大統領の会談(4日)

ドディック大統領評議会メンバー等RS政府代表団は、1995年8月のクロアチア軍による「嵐作戦」のセルビア系犠牲者追悼式典に合わせてセルビアを訪問し、ブチッチ同国大統領と会談した。この中でRS要人は、インツコ前上級代表によるボン・パワー行使の不当性を主張。これに対してブチッチ大統領は、いかなる場合でも、上級代表による決定の強制は望ましいものではないとしたうえで、BHの3構成民族が協力して解決策を見いだすことが必要とする見解を述べた。

●「デイトン2」締結を提唱するドディック大統領評議会メンバー発言(27日)

27日の大統領評議会とエルドアン・トルコ大統領の会談後、ドディック・メンバーは、国際社会の介入によりデイトン合意は死文と化しており、これに代わる新たな合意が必要との見解を示したうえで、停滞が続くBH情勢の打開に向け、トルコ、セルビア、クロアチア各国の大統領に交渉の仲介を要請する意向を発言。これに対してエルドアン大統領は、3構成民族の総意に基づく要請であればこれに応じる用意があると反応。一方でミラノビッチ・クロアチア大統領は、交渉が実現する可能性は低いとの見通しを述べた。

●RS野党、デイトン合意をめぐるドディック大統領評議会メンバー発言に反発(30日)

RS野党は、「デイトン合意は死文と化しており、これに代わる新たな合意が必要」とする27日のドディック大統領評議会メンバーの発

言に反発。30日には、シャロビッチ・セルビア民主党(SDS)党首、ボレノビッチ民主進歩党(PDP)党首、ネシッチ民主人民同盟(DNS)党首が会合を開催、 Dayton合意を否定する発言は危険として、ドディック・メンバーを強く非難した。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●シュミット新上級代表の就任(1日)

1日、7月末に退任したインツコ前上級代表に代わり、シュミット新上級代表(前ドイツ食糧・農業大臣)が就任した。他方で、ドディック大統領評議会セルビア系メンバーは、RSの反対を無視して進められた同代表の任命に正当性はないと主張、シュミット新上級代表の就任は認めないとする立場を示している。

●当地ロシア・中国大使館、シュミット上級代表就任に反対する旨の口上書を発出(13、16日)

1日のシュミット上級代表の就任をめぐり、13日、当地ロシア大使館は、国連安保理による承認を得ていないシュミット上級代表の任命には正当性がないとして、その就任に反対する旨の口上書を発出した。また16日には、当地中国大使館も同様の趣旨の口上書を発出した。

●シュミット上級代表とメルケル独首相の会談(18日)

シュミット上級代表がドイツを訪問、メルケル同国首相と会談を行い、欧州大西洋統合の現状を始めとするBH情勢につき意見を交わした。会談においてメルケル首相は、シュミット

上級代表に対するドイツ連邦政府の全面的な支持を約束した。

(2) 二国間関係

●ベルガー独外務次官のBH訪問(1～2日)

ベルガー独外務次官がBHを訪問し、コムシッチ大統領評議会議長およびジャフェロビッチ・メンバー、またトウルコビッチ副首相兼外相(ボシュニャク系与党第一党SDA所属)と会談を行った。各会談では、BHのEU加盟プロセス、シュミット上級代表の就任を含む当国情勢につき話し合われた。なお、インツコ前上級代表によるボン・パワー行使に反発し国政ボイコットを表明しているドディック・メンバーは、同会談を欠席した。

●トウルコビッチ外相のイラン訪問(3～5日)

トウルコビッチ副首相兼外相はイランを訪問し、同国のライシ大統領及びザリーフ外相と会談を行った。会談において両外相は、新型コロナウイルス対応につき意見を交わした。このほか、トウルコビッチ外相が長年に亘るイランの対BH支援に謝意を述べたのに対して、ザリーフ外相は、引き続きイランはBHの一体性を支持する旨述べた。

●米国上院議員団のBH訪問(30日)

米国連邦議会上院議員代表団(5名)およびブラウン米国務次官補筆頭代理代行(政軍問題担当)がBHを訪問、シュミット上級代表と会談したほか、BH国防省の主催で行われた、米国の対BH支援に基づく地雷除去装備の引渡式典に出席した。

(3)日・BH関係

●伊藤大使のモスタル市長訪問(3日)

伊藤駐BH日本国大使は、BH南部モスタル市(BH連邦)を訪問し、コルディッチ同市市長と会談、今後の協力関係強化の可能性につき意見交換を行った。



(写真:伊藤大使とコルディッチ市長)

●伊藤大使のBHパラリンピック選手団壮行会出席(17日)

伊藤駐BH日本国大使は、パラリンピック東京大会を前に開催された、当国パラリンピック選手団の壮行会に出席した。伊藤大使は、東京の暑さの中でも健康に留意しつつ、存分に実力を発揮できるよう、選手たちの健闘を祈る旨述べた。



(写真:伊藤大使によるスピーチ)

●シュクルビッチ・バニャ・ルカ大学医学部

長に対する外務大臣表彰の決定(20日)

日本国外務省は、ランコ・シュクルビッチ・バニャ・ルカ大学医学部長に対し、令和3年度外務大臣表彰を授与することを決定した。同氏は、1989年の日本留学後、長年にわたり日本とBHとの相互理解の促進に取り組んでおり、その功績が認められた。



(写真:シュクルビッチ医学部長)

3. 経済

(1)経済政策・公共事業

●IMF、特別引出権の発動によりBHIに約3億ユーロを配分(24日)

IMFは、新型コロナウイルス後の世界経済回復に向け、総額6,500億ドル規模の特別引出権(SDR)を発動、このうちBHIに対しては同国の資金拠出率に応じて約3億ユーロを配分した。今後、BH中央銀行が両エンティティおよびブルチュコ特別区に対して同資金を配分する見通し。

(2)経済協力(新型コロナウイルス対策支援を含む)

●EUとIOM、BHIに対して新型コロナ対応支援を実施(4日)

当地のEU代表部および国際移住機関(IOM)

M)は、新型コロナ対応支援の一環として、BH西端のビハチ市およびベリカ・クラドゥシャ市(ともにBH連邦)の診療所に対して医療用のコンテナ計5台を供与した。

(3)民間セクター

●2020年の対BH外国直接投資額、前年から増加を記録(17日)

BH中央銀行によれば、2020年の対BH外国直接投資額は6億7,820万KM(約3億4,600万ユーロ)で、前年から8,100万KM(約4,100万ユーロ)の増加。国別投資元ではクロアチアが最大で、2位がセルビア。分野別の投資額は、上から金融、卸売、エネルギーの順に多い。BH中銀は、2020年の世界経済が低調であったことに鑑みれば、前年からの増加を記録した対BH外国投資は比較的好調であったとする評価を示した。